



和歌山県PRキャラクター きいちゃんのワンダフルわかやま

和歌山のすばらしいモノや地域の自慢などを「きいちゃん」が紹介します！
今回は、豊かな自然に恵まれたわかやまの自然歩道をご案内します。



事前に歩くコースの距離や所要時間などゆとりのあるスケジュールを組んでね。体調も整えて快適なウォーキングを楽しもう！

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されている熊野参詣道や高野参詣道をはじめ、旧街道など歴史・文化を感じられる道。雄大な太平洋の景観を満喫できる道や深流沿いの自然を楽しむことができます。など53のコースがあります。



問 県庁環境生活総務課 自然環境室
☎073-441-2779 WEB



各コースは、四季を通じて手軽に楽しく快適に歩くことができるように、テーマを決めて1日コースとして設定されています。時には、いつもと違う景色を眺めながら、心身ともにリフレッシュできるウォーキングを取り入れてみましょう。



公園内にある万葉の小路

プラスワンコラム 気軽に健康運動ができる 片男波公園 健康館

今年4月、日本遺産に認定された万葉の景勝地「和歌の浦」にあるスポーツ施設。雨や風、冬期でも気軽に健康運動が行え、アリーナを中心にトレーニング室・多目的室などがあります。イベントや集会・地域の交流活動の場としても利用できるワン！

問：和歌公園管理事務所 ☎073-446-5553

わかやまの自然歩道

楽しく歩いて健康に！



健康のため、手軽にできる運動としてウォーキング



高野山町石道をたどるみち



黒潮おどる紀伊大島を訪ねるみち

健康長寿

日本一をめざして

2

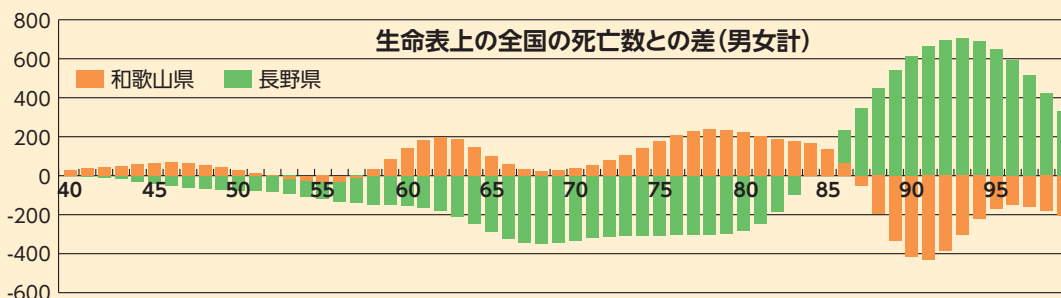
健康をめぐる現状の要因を考えると

県福祉保健部健康局長

野風孝子



今回は、平均寿命に影響を与えている死亡の状況を見てみます。下図は10万人が生命表(平成22年)の年齢別死亡率どおり死亡していくとした場合、全国平均の死亡数との差を表したものです。健康長寿県である長野県は、概ね85歳までは全国より少なく、85歳を超えると多くなっています。一方、本県は、概ね若い年代で全国より多く、85歳を過ぎると少なくなっています。これは長野県では、若い年代の死亡が少なく、逆に本県では、早死にが多いといえます。



※紙面の都合上、40歳未満の表示を省略しています。

人権連載 心の気づき

人権学習パンフレット「差別のない社会をめざして」の活用を！

問 県教育庁人権教育推進室
☎073-441-3719

昨年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。この法律は、部落差別は許されないものであるとの認識のもとに、部落差別の解消の必要性について国民の理解を深めるよう努めることにより、部落差別のない社会を実現することをめざしたものです。

残念ながら、今なお、インターネット上の差別書き込み、個人を誹謗中傷する差別発言、行政への同和地区の所在地に関する問い合わせなどの行為が発生しています。部落差別は、現在も続いている重大な人権問題なのです。

人権学習パンフレット「差別のない社会をめざして」は、保護者や地域の方が、部落差別の現状や歴史、なぜ法律ができたのか、今後どう取り組んでいけばよいのかなどについての理解を深め、グループワークもできるよう作成しています。学校や地域をはじめ、さまざまな人権学習の場でぜひご活用ください。

